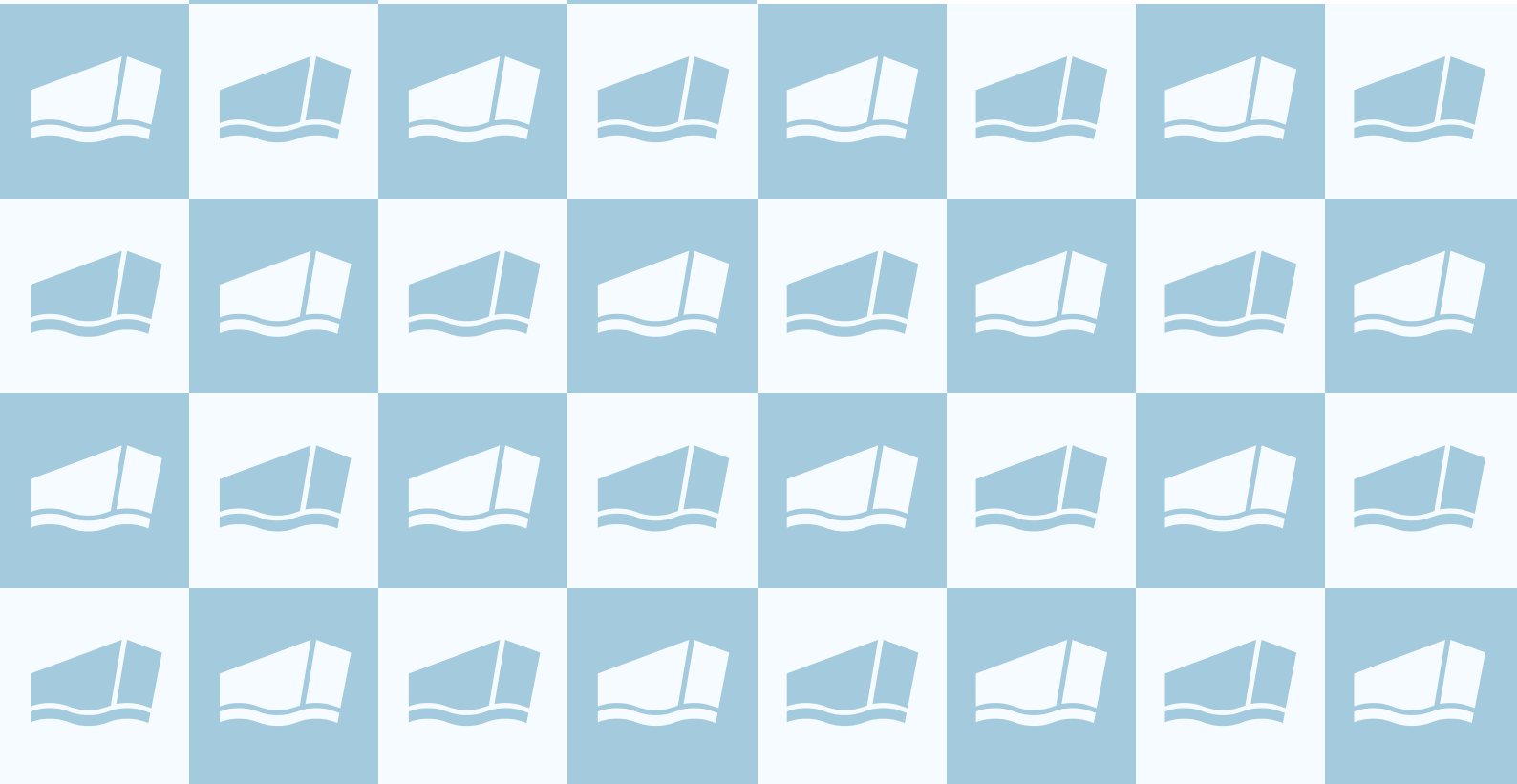


調布市せんがわ劇場
開館 10 周年記念誌



もくじ

03	ご挨拶 調布市長
04	設置目的・使命
05	劇場の活動を支える市民サポーター
07	事業紹介
08	サンデー・マティネ・コンサート
10	サンデー・マティネ・コンサート Plus+
11	ファミリー音楽プログラム
12	親と子のクリスマス・メルヘン
14	せんがわシアター 121
16	JAZZ ART せんがわ
18	せんがわ劇場演劇コンクール
20	ピアノを育てるプロジェクト/ せんがわピアノオーディション
22	市民参加演劇
24	伝統芸能ワークショップ
25	元芸術監督・コーディネーター
26	アンサンブル公演
28	人形演劇祭 “inochi”
29	その他の事業
30	地域連携事業
32	アウトリーチ
34	地域紹介
36	劇場からの情報発信
38	施設概要
39	貸館データ
40	年表

ご挨拶



調布市長
長友 貴樹

調布市せんがわ劇場は、市民の舞台芸術の創造及び発信の拠点であり、様々な事業を通して、芸術文化を身近に感じる機会を市民に提供しております。平成20年4月に開館して以来、少しずつ形を変えながらも、市民のための、地域密着型の劇場として事業を実施し、平成30年4月に10周年を迎えることができました。

本記念誌は、その軌跡をたどり、劇場が歩んできた10年を振り返るとともに、様々な事業の内容を楽しみながらお読みいただき、せんがわ劇場にお越しになられたことのない方にも興味をもっていただけるように作成いたしました。

是非、皆様には、劇場の魅力を感じていただくとともに、劇場に足をお運びいただき、舞台芸術の創造にお力添えくださいますようお願い申し上げます。

結びに、本記念誌の発行に当たりまして、各事業の関係者の皆様、市民サポーターの皆様をはじめ、ご協力くださいました皆様にお礼申し上げます。

設置目的

舞台芸術を通じ、新たな地域文化発信基地 仙川地域のにぎわいと活性化への寄与

せんがわ劇場の使命

せんがわ劇場は、「市民・地域の文化が生まれ、まちの誇りとなる劇場」という将来の姿の実現に向けて、次の4つの使命のもと事業を展開していきます。

市民・地域と共に地域の 芸術文化ネットワークを創造します

地域密着型施設として開館したせんがわ劇場は、開館からこれまで、様々な地域の機関と連携し、事業を展開してきました。今後、めざす将来の姿を実現していくうえで、劇場と地域のネットワークを強化していく活動が求められます。そこで、事業以外にも様々な劇場の活動を通じ、文教施設・商店街など仙川地域を軸とした市内の社会・文化資源を結びつける芸術文化のネットワークを創造することを使命の一つとします。

舞台芸術を通じ、次世代を担う子どもたちや 舞台芸術活動者を豊かに育てます

10年間の長期展望のもとせんがわ劇場のあるまちづくりを推進し、まちの誇りとなる劇場をめざすには、10年後を担う人材をせんがわ劇場が育てていくことが求められます。そこで、めざす将来の姿の実現に向け、次世代を担う地域の子供たちが小さい頃から劇場に親しむ取組や、舞台芸術活動者を豊かに育てることを使命の一つとします。

舞台芸術を楽しむ市民の 裾野を広げるプログラムを提供します

せんがわ劇場があることを知っていても来場する機会がない、自分が利用する施設という実感がない等、せんがわ劇場は多くの市民にとってまだ身近にはなっていないという状況があります。その一方で、繰り返しせんがわ劇場を訪れる人も増えてきています。今後は更に、舞台芸術を楽しむ市民の裾野を広げる魅力的なプログラムを提供することを使命の一つとします。

市民の舞台芸術活動を活性化し、利用者の 視点を大切に施設貸出事業を行います

めざす将来の姿の実現において、市民に活動の場を提供する施設貸出事業は大きな役割を果たします。施設貸出事業は市民に活動の場を提供するだけでなく、施設利用者による公演によって、舞台芸術に親しむ機会を市民に提供することができます。そこで、公平さは保ちつつ、施設を管理する側の発想でなく、利用者の視点を大切に施設貸出事業を行うことを使命の一つとします。

(平成 25 年 調布市せんがわ劇場運営プランより)

劇場の活動を支える 市民サポーター

せんがわ劇場の活動をさまざまな面から支え、劇場と地域との架け橋になっているのが、「調布市せんがわ劇場市民サポーター（開館当初の名称はせんがわ劇場アンサンブル）」のみなさんです。高校生以上による登録制で、2018 年度は約 40 名の市民サポーターが活動しています。劇場の開館時から登録しているベテランから、劇場のイベントに参加するうちに運営側にまわりたいとサポーターになった現役高校生まで。幅広い年代の市民サポーターたちが劇場と仙川のまちを盛り上げています。

来場者のお迎え



公演の受付やチケットもぎり、会場案内など、来場者のお迎えでも劇場スタッフと一緒に市民サポーターが活躍しています。

ロビー展示



劇場ロビーでおこなわれる展示の準備・設営にも市民サポーターの協力が。

舞台衣装制作



せんがわ劇場が制作する演劇公演の衣装は、市民サポーターの衣装制作チームの力作。次の公演では、俳優たちの演技を引き立てる衣装にもご注目ください！

おらほせんがわ夏まつり



地域の夏まつりのプログラムとしてせんがわ劇場でおこなわれる「RPG（ロールプレイング劇場）」は、市民サポーターが企画から出演まで手がける人気イベント。参加者たちは勇者となって、市民サポーター扮する登場人物たちとのやりとりを楽しみながら劇場内を探索します。

ケータリング



公演の出演者やスタッフのためのケータリングもおこないます。JAZZ ART せんがわなどの大掛かりなイベントを、食の面からも支えています。

ポスティング・チラシ配り



集客のためのポスティング準備にも市民サポーターの力が欠かせません。



JAZZ ART せんがわでは、まちなかのイベントでのチラシ配りも。

クッション



小さいお子さんが舞台を見やすいようにという心遣いから、市民サポーターが制作したカラフルなクッション。側面には、せんがわ劇場のロゴも。

情報誌「121PRESS」



市民サポーターが独自の目線から劇場の様子を伝える情報誌「121PRESS」。編集もレイアウトもすべて市民サポーターが担っています。

マナー研修



市民サポーターのためのマナー研修もおこなっています。



事業紹介



vol.204 より © 青二才晃 (市民サポーター)

サンデー・マティネ・コンサート

大人も、子どもも、みんなで楽しむ
日曜午前の上質コンサート。

DATA

開始時期：2008年4月
開催回数：193回
のべ出演者数：789名
のべ観客数：20,381名
関わった市民サポーター数：369名
事業種類：舞台芸術を楽しむ市民の裾野拡大事業

※回数・人数などは2017年度終了時のものです

「サンマチ」の愛称で親しまれている、日曜午前に開かれる約45分間の無料コンサートです。劇場が開館した2008年4月以来、毎月1~2回、クラシックや民族音楽、ジャズ、現代音楽など幅広いジャンルの演奏がおこなわれ、2018年7月には200回を迎えました。

特徴は、本格的なプログラム内容でありながら、年齢等の制限がなく、広くどなたでも楽しめること。プロオーケストラの首席ソリストや世界で活躍する音楽家など、^{そう} 錚々たる顔ぶれが出演し、大人と子どもが一緒に上質な演奏に親しむ国内でも珍しい場となっています。



- vol.200より。公募で集まった200回記念市民合唱。100回に続き、記念の回を共に祝いました。
- vol.78より。音楽と演劇のコラボレーションが好評だった作曲家シリーズ第3弾「リスト物語」
- vol.5より。主催演劇公演の期間中は、舞台セットの中でコンサートが行われるため、いつもと雰囲気が変わります。
- 毎年4月のサンマチ初回は、シーズンスタートを祝して、駅前でファンファーレを行います。

終演後の演奏者インタビューより

2回目の出演ですが、ますますお客様と私たち演奏者の距離が近くなっていて、毎回このコンサートを楽しみに来ていらっしゃるといのがとても伝わりました。アートの担い手と繋ぎ手、そしてお客様が密着しているコンサートになっているのだなと思いました。(vol.182)

日曜日のお昼前の時間に皆さんがコンサートに足を運び、音楽を聴いて過ごすことが生活の一部になっているのだと感じ、とても嬉しかったです。(vol.158)

お客様が慣れていて、解説をすると「うんうん」とうなずいてくださるので、とても話しやすかったです。(vol.179)

来場者アンケートより

音楽にあまり詳しくない、でも興味がある!!このような気軽に楽しめる機会があると、とてもうれしいです。しかも無料で、時間もちょうど良く、ぜひ今後とも続けていただきたいです。(2018)

小さい子がきけるコンサートはなかなかないので、本当に楽しみにしているイベントです。ありがとうございました。(2017)



vol.7では、パリ管弦楽団首席フルート奏者ヴァンサン・リュカと東井美佳（ピアノ）の共演。



「子どものための演奏会入門～はじめてのオペラ～」より。質問コーナーでは、いつもたくさんの方が手を上げます。

サンデー・マティネ・コンサートPlus+

本格的な演奏をじっくり味わう。
もうひとつの「サンマチ」。

DATA

開始時期：2012年11月
開催回数：15回
のべ出演者数：48名
のべ観客数：1,690名
関わった市民サポーター数：30名
事業種類：舞台芸術を楽しむ市民の
裾野拡大事業

※回数・人数などは2017年度終了時のものです

人気のサンマチ（サンデー・マティネ・コンサート）の姉妹企画として、落ち着いてコンサートを楽しみたいという市民の声に応じて生まれたのが、サンデー・マティネ・コンサート Plus+（プラス）です。

年齢制限のないサンマチに対して、プラスは年2回の開催で、未就学児の入場は不可。ワンコイン500円の入場で、コンサート時間は70～90分とサンマチの約2倍です。気軽に参加できるサンマチのカジュアルさそのままに、じっくり落ち着いて本格的なコンサートをお楽しみいただいています。

ファミリー音楽プログラム

音楽をもっと身近に。
親子で楽しむ音楽プログラム。

DATA

開始時期：2011年6月
開催回数：20回
のべ出演者数：145名
のべ観客数：1,339名
関わった市民サポーター数：17名
事業種類：次世代を担う子どもたち
育成事業

※回数・人数などは2017年度終了時のものです

せんがわ劇場では、コンサートばかりでなく、音楽を通して家族のコミュニケーションを深めるプログラムもおこなっています。

なかでも人気なのが、2011年から毎年開催している「子どものための演奏会入門コンサート」。アンコールや暗転といったコンサートの流れや拍手のタイミングなど、コンサートを楽しむためのマナーを実際の演奏会をとおして親子で学ぶことができます。

お土産のハンドブックには、家に帰ってから親子で音源を聴いたりしながら学びを深められるミニ情報も。



2011年「クリスマス・キャロル」原作/チャールズ・ディケンズ、翻訳/松本永実子、脚色・演出/菊池准

親と子のクリスマス・メルヘン

せんがわ劇場、冬の風物詩。 クリスマスには親子で演劇を。

せんがわ劇場が制作する演劇公演のなかでも、とりわけ市民から愛されているシリーズ。劇場が開館した2008年以来、毎年クリスマスシーズンに大人と子どもが一緒に楽しめる公演をおこなっています。2013年からは、劇場が主催する演劇コンクールで入賞した演劇人たちが、演出や振付、出演などさまざまな形で公演に携わるようになり、市民が演劇に親しむ機会だけでなく、若手演劇人の育成の場にもなっています。また、終演後のサンタクロースから子どもたちへのプレゼントも恒例となっています。

DATA

開始時期：2008年12月
 開催回数：10回
 のべ参加者数：485名
 のべ観客数：7,939名
 関わった市民サポーター数：238名
 事業種類：舞台芸術を楽しむ市民の裾野拡大事業

※回数・人数などは2017年度終了時のものです



- 終演後にはサンタクロースが登場、子どもたちにプレゼントを渡します。
- 2017年「シンデレラ」振付・構成・演出/スズキ拓朗
- 2010年「星の王子さま」原作/サン・テグジュペリ、上演台本/調布市せんがわ劇場アンサンブル、演出/ペーター・ゲスナー
- ロビーもクリスマスムードを高める飾りつけをしています。
左下以外：©青二才晃（市民サポーター）

仲村 祐妃子（衣装デザイナー）

クリスマス・メルヘン以外にも、衣装デザイナーとして多数参加。市民サポーターの衣装チームとの信頼は厚く、美しい衣装は観客からも人気を博している。



大変光栄なことに私はせんがわ劇場のクリスマス公演の衣装を担当させて頂き今年で8作品目になります。中でも真っ赤な衣装のサンタクロースが舞台上に現れる演出。これは初

回からの伝統です。子供達の嬉し恥ずかしそうな反応はずっと変わりません。クリスマスの特別な劇場体験としていつまでも良い思い出になっているといいなと願っています。

来場者アンケートより

大人も子どもも楽しめるすごくいい劇でした。このお値段で観れるとは！ありがとうございました。(2017)

毎年たのしみにしています。また来年も娘や友人と来たいと思います。(2016)

お芝居を見ている子どもたちが生き生きしていた。子どものころから演劇を身近に感じる事が出来るのは素晴らしいと思った。(2013)



2013年 vol.2 「紙屋悦子の青春」作/松田正隆、演出/越光照文

せんがわシアター121

劇場の財産となるレパートリー作品が 生まれ、育つ舞台。

DATA

開始時期：2013年2月
 開催回数：12回(うち2回は「親と子のクリスマス・メルヘン」として実施)
 のべ参加者数：438名
 のべ観客数：6,905名
 事業種類：舞台芸術を楽しむ市民の裾野拡大事業

※回数・人数などは2017年度終了時のものです

劇場の客席数を冠した演劇公演のシリーズ。普段は劇場に足を運ばない人たちにも、仕事帰りに気軽に演劇を楽しんでもらいたいという思いから生まれました。

客席数121席という小劇場にふさわしい演劇の小品を、市民のみなさんと共に「珠玉の名作」に育て、劇場の財産となるレパートリー作品を増やしていくことを目指しています。

2012年度にリーディング公演をおこない、2013年度から本格的な公演をスタート。年に2本程度のペースで、劇場が自主制作する演劇公演をおこなっています。



- 2016年 vol.8 ~唄とピアノとお芝居と~「庭にはニワトリ二羽にワニ」「キニサクハナノナ」作/小川未玲、演出/志賀廣太郎
 - 2017年 vol.10 海外戯曲リーディング「ノームとアーメッド」(オーストラリア)作/アレクサンダー・ブーズ、訳/佐和田敬司、演出/日澤雄介
 - 2015年 vol.5 「マヨイガの妖怪たち」作/堀江安夫、演出/河田園子
 - 2013年 vol.1 「戦場のピクニック」作/フェルナンド・アラバル、訳/若林彰、演出/末永明彦
- 右上：©田伏博 その他：©青二才晃(市民サポーター)

常田 景子(翻訳家)

本邦初演作品「彼女の素肌」で劇場事業に初参加後、劇場の特長から、海外の優れた短編戯曲のリーディング公演を提案。地道な試読会を重ねながら、公演を実現している。



せんがわ劇場は、舞台と観客の距離が遠すぎず、親近感を持って上演を楽しむことのできる空間です。その点、リーディング公演にもぴったりだと思い、この企画に乗り出しました。

見知らぬ外国の人たちの物語に、私たちとの違いや意外な共通点を見出して、興味や親しみを感じていただけたら幸いです。

来場者アンケートより

リーディングからの本公演ですが、せんがわ劇場にあった作品になったように思います。レパートリー作品として今後も再演してもらいたいです。(2017)

2話の組み合わせがよかった。珠玉の小品という感じ。音楽も素敵だった。(2014)

短い上演時間だったので集中して見られた。開演時間も良く、学校が終わってから行けた。(2013)



2017年「John Zorn's COBRA」©MASAAKI IKEDA

JAZZ ART せんがわ

即興音楽とアートが融合する 唯一無二のフェスティバル。

即興的な音楽とアートパフォーマンスを融合させ、劇場と地域との関係を紡ぐジャズフェスティバル。2008年の第1回から、プロデューサーとして巻上公一、藤原清登、坂本弘道の3氏を迎え、国内外の一流のミュージシャンがずらりと並ぶ唯一無二のラインナップで、多くのファンから熱い注目を集めてきました。

劇場ライブにとどまらず、街中でライブを楽しめるプログラムや親子で参加できるワークショップなど、市民も気軽に楽しめるイベントにより、仙川の街が即興音楽とアートで彩られます。

DATA

- 開始時期：2008年7月
- 開催回数：10回
- のべ参加者数：1,560名
- のべ観客数：16,304名
- 関わった市民サポーター数：138名
- 事業種類：舞台芸術を楽しむ市民の裾野拡大事業

※回数・人数などは2017年度終了時のものです

【JAZZ ART せんがわ 2008 (第1回)】
巻上公一、サム・ベネット、川上未映子、清水一登、坂本弘道、山本達久、ヒカシュー、坂田明、Skist、さりげなくDivs、藤原清登 Jump Monk Orchestra、CICALA-MVTA、山川冬樹、深町純、JAZZ ART TRIO、sim、John Zorn's cobra Tokyo Sengawa operation 林正樹部隊(林正樹、鬼怒無月、佐藤芳明、喜多直毅、鳥越啓介、吉見征樹、さがゆき、蜂谷真紀、大和多正樹、田中邦和、大島輝之、大谷能生、榎村昌弘、巻上公一)、SALLE GAVEAU、CLUB JAZZ 屏風(徳久ウィリアム、立岩潤三、柳家小春、永田一直、ヤマねごさん、賃貸人格、門田克彦、村上巨樹、吉田悠樹、ツタツタ、北陽一郎)



【JAZZ ART せんがわ 2009 (第2回)】
なら春子トリオ、吉増剛造、大友良英、巻上公一、アルタドステイツ、ジントラムータ、藤原清登、蜂谷真紀、酒井俊、坂本弘道、桜井芳樹、船戸博史、八木美知依トリオ、AGRA DHARMA (モリイクエ、シルヴィー・コルバジェ、巻上公一)、藤原清登 Jump Monk Orchestra、ドラびでお、灰野敏二、RUINS alone 吉田達也、梅津和時、ヒカシュー、坂田明、ジム・オルーク、井野信義、田中徳崇 John Zorn's Cobra Tokyo Sengawa operation 内橋和久部隊(青木タイセイ、モリイクエ、石橋英子、内橋和久、ジム・オルーク、シルヴィー・コルバジェ、千住宗臣、七尾旅人、ナスノミツル、山本達久、横川理彦、渡邊琢磨、巻上公一)、COMBO PIANO (渡邊琢磨、千住宗臣、内橋和久)、CLUB JAZZ 屏風(北陽一郎、桜井真樹子、ヤマねごさん、矢野忠&轟☆遊子、林加奈、mc.sirafu、吉田悠樹、村上巨樹、遠藤理美)、NEBULA、渡辺篤、タマゴ、坂本弘道、芳垣安洋、KONTA、パスカルズ、カルメンマキ、黒田京子、喜多直毅



【JAZZ ART せんがわ 2010 (第3回)】
恥骨、谷川俊太郎、谷川賢作、佐々木幹郎、VOICE SPACE、Haco、坂本弘道、荒井良二、梅津和時、田中涙、山下洋輔、小森慶子、吉野弘志、藤原清登、小松玲子、おおたか静流、巻上公一、Warehouse、藤井郷子オーケストラ東京、藤原清登 NY trio original)、坂田明、Jim O'Rourke、八木美知依、PIKA☆、太黒山、サム・ベネット、KOKOPELLI、太田恵貴、鬼怒無月、吉見征樹、坂出雅海、柳家小春、泉邦宏、蜂谷真紀、ロケットマツ、石川浩司、秘宝感、KAZE、藤原清登 Jump Monk Bass Band Special、おしりたち(酒井俊、石橋英子、山本達久、坂本弘道)、ヒカシュー、藤原大輔、荒井良二、PIKA☆、NON BAND、oncenth trio、副島輝人、Giovanni Di Domenico、高岡大祐、Haco、坂本弘道、八木美知依ダブル・トリオ、坂田明、ジム・オルーク、山本達久、PIKA☆、高岡大祐、佐藤允彦、今覚恒雄、巻上公一、John Zorn's COBRA 東京せんがわ作戦 神田佳子部隊(有馬純寿、大石哲紀、神田佳子、木ノ島道元、坂本弘道、佐藤允彦、しばてつ、田中悠美子、中村仁美、橋本晋哉、藤原清登、松平敬、本田珠也、巻上公一)、泉邦宏、片山広明、藤掛正隆、喜多直毅、パール・アレキサンダー、Haco、CLUB JAZZ 屏風(ツタツタ、北陽一郎、Soon Kim、金子泰子、林加奈、ヤンマー島村、吉田悠樹、村上巨樹、片山貴志、荒井康太、平山準人、横山祐太、ヨシハマショウ、山本ヤマ)

【JAZZ ART せんがわ 2011 (第4回)】
恥骨、白石かずこ、井野信義、巻上公一、堀江英公、梅津和時、藤原清登、吉田隆一、大野慶人、佐藤正治、太田恵貴、鬼怒無月、吉見征樹、坂出雅海、柳家小春、泉邦宏、蜂谷真紀、ロケットマツ、石川浩司、秘宝感、KAZE、藤原清登 Jump Monk Bass Band Special、おしりたち(酒井俊、石橋英子、山本達久、坂本弘道)、ヒカシュー、藤原大輔、荒井良二、PIKA☆、NON BAND、oncenth trio、副島輝人、Giovanni Di Domenico、高岡大祐、Haco、坂本弘道、八木美知依ダブル・トリオ、坂田明、ジム・オルーク、山本達久、PIKA☆、高岡大祐、佐藤允彦、今覚恒雄、巻上公一、John Zorn's COBRA 東京せんがわ作戦 神田佳子部隊(有馬純寿、大石哲紀、神田佳子、木ノ島道元、坂本弘道、佐藤允彦、しばてつ、田中悠美子、中村仁美、橋本晋哉、藤原清登、松平敬、本田珠也、巻上公一)、泉邦宏、片山広明、藤掛正隆、喜多直毅、パール・アレキサンダー、Haco、CLUB JAZZ 屏風(ツタツタ、北陽一郎、Soon Kim、金子泰子、林加奈、ヤンマー島村、吉田悠樹、村上巨樹、片山貴志、荒井康太、平山準人、横山祐太、ヨシハマショウ、山本ヤマ)

【JAZZ ART せんがわ 2012 (第5回)】
恥骨、伊藤比呂美、沢井一恵、CICALA-MVTA、オールドタイツ、トンチ、おおたか静流、カール・ストーン、坂本弘道、倉地久美トリオ、ペットボトル人間、藤原清登、ダヴィド・サントルソラ、福家俊介、巻上公一、坂田明、ジム・オルーク、山本達久、高岡大祐、チャラン・ポ・ランタン、うずらぎぬ、不破大輔、泉邦宏、東野祥子、一樂善志幸、坂本弘道、東京スリム、Haco、藤原清登、mito、勝井祐二、坂本弘道、ヒカシュー、沖至、チャンゴダイ、菊池マリ、梅津和時、熊谷和徳、清水一登、ウィンチェスター・ニテテ、John Zorn's COBRA 坂本弘道部隊(エミ・エリオノーラ、後藤まりこ、川口義之、坂本弘道、中島さち子、竹久園、田中邦和、PIKA☆、藤掛正隆、吉野弘志、山川冬樹、ユザーン、巻上公一)、柳家小春、池澤龍作、SMOKE BENDERS DUO、ヒグチケイコ、神田晋一郎、加藤崇之、Haco、CLUB JAZZ 屏風(ヤンマー島村、荒井康太、尾上祐一、狩俣道夫、木野彩子、後藤将一郎、しん、庄田次郎、鈴木美紀子、野村ジューン、NEZUMI、久田祐三、平山準人、森順治、山田光、横山祐太、長峰麻貴)、吉田隆一、Soon Kim、北陽一郎、松本ちほや



【JAZZ ART せんがわ 2013 (第6回)】
恥骨、金澤一志、ことぶき光、藤原清登、秘宝感、沖至、時々自動、黒田征太郎、荒井良二、坂本弘道、Superterz、Koho Mori-Newton & SIMON BERNIS、藤原清登、灰野敏二、ヒカシュー、ローレン・ニュートン、三田超人、清水一登、BRIGHT MOMENTS、Haco、今西裕子、梅津和時、サム・ベネット、鈴木昭男、Soon Kim、早川岳晴、藤掛正隆、北井あけみ、塚田次実、坂田明、ジム・オルーク、坂口光央、須岡大祐、山本達久、佐藤允彦、Jazz Art Trio、山田せつ子、John Zorn's COBRA ジム・オルーク部隊(ジム・オルーク、波多野敦子、須藤俊明、山本達久、石橋英子、とんち、ユザーン、五木田智央、千葉広樹、坂口光央、巻上公一)、坂本幸の影、坂本弘道、泉邦宏、岩見春香、野崎理人、広瀬淳二、KILLER-OMA (鈴木勲、KILLER-BONG)、Haco、CLUB JAZZ 屏風(ヤンマー島村、庄田次郎、Maresuke、安田奈加、久田祐三、森順治、平山準人、金子泰子、田井中圭、武田理沙、鈴木公二、長峰麻貴)、和田美帆、パスカル・ロガン、元川匠



第10回を祝して、漫画家の山本直樹氏より贈られたイラスト

【JAZZ ART せんがわ 2015 (第8回)】
恥骨、時々自動、NOTALIN'S、目黒隆介、テンテンコ、沖至、Ayumi Tanaka、藤原清登、八木美知依、新垣隆、吉田隆一、ヒカシュー、藤原雅代、佐藤允彦、Art Hirahara、村上寛、藤原清登、太田恵貴、佐藤允彦、巻上公一、宮崎博文、富川政嗣、カルメン・マキ、川上未映子、斎藤哲也、鈴木正人、千住宗臣、坂本弘道、先カンブリア・クラリネット四重奏団、Time is A Blind Guide CLUB JAZZ 屏風&公園イベント(四家卯大、柳家小春、森順治、田中まさし、歌女、北陽一郎、内田典文、佐々木 恵、林加奈、田井中圭、泉邦宏、ソヤ・ミコトバー女史、林田未、鎌田英嗣、池澤龍作、トマツカヒロ、田中ハル、大隅健司、長峰麻貴)

【JAZZ ART せんがわ 2016 (第9回)】
大野慶人、恥骨、WorldService Project、時々自動、ロジャー・ターナー、沖至、柳家小春、藤原清登、ジム・オルーク、石橋英子、ジョー・タリア、アイヴン・ロンニング、巻上公一、八木美知依トリオ(八木美知依、須川崇志、大村亘、Phew、向島ゆり子、早川義夫、坂本弘道、冷水ひとみ、大野由美子、ASA-CHANG、ミナクマリ、中原昌也、坂本弘道、橋本一子、坂田明、トマツ・カッペラート、藤原清登、FOOD、ヒカシュー、CLUB JAZZ 屏風&公園イベント(柳家小春、林加奈、立岩潤三、尾引志志、片岡祐介、落合康介、泉邦宏、あったずもナイト(伊藤麻実子、熊坂路得子、長谷川宝子)、ひらみまのん ところっぽ、3日満月(権頭直也、佐藤公哉)

【JAZZ ART せんがわ 2016 (第10回)】
藤井郷子オーケストラ東京(早坂知、泉邦宏、松本健一、吉田隆一、田村夏樹、福本佳仁、渡辺隆雄、城谷雄策、はぐれ雲 永松、古池寿浩、高橋保行、藤井郷子、永田利樹、堀越彰)、アリスター・スペンス、トクマルシューゴ、カフカ解、JAZZ ART Trio、John Zorn's COBRA (山本達久、ジョー・タリア、坂口光央、吉田隆一、藤原大輔、太田恵貴、大隅健司、興助創、藤原雅代、柳家小春、熊坂路得子、後藤隆、パール・アレキサンダー、巻上公一)、VocColours、北陽一郎、小森慶子、モガン・フィッシャー、巻上公一、中山晃子、南方美智子、七尾旅人、坂本弘道、喜劇映画研究会、板橋文夫、藤原清登、大福屋(斎藤和志、ピーター・マドセン、藤原清登、松本浩一、沖至、CLUB JAZZ 屏風(清水一登、熊坂路得子、落合康介、藤巻鉄郎、片岡祐介、菅間一徳、田井中圭、柳家小春、四家卯大、白石民夫、Galammoo、高岡大祐、鈴木モモ、白神ももこ、林加奈、池田由布子)

来場者アンケートより

このイベントに来ると、いつも新しい音楽の(パフォーマンスも)発見がある。

世界的なアーティストをこのくらいのキャパでリーズナブルに見られる貴重なイベントだと思います。(共にJAZZ ART せんがわ2016(第9回))



総合プロデューサー 巻上公一(超歌唱家)

第1回から総合プロデューサーとして参加。プロデューサーの藤原清登、坂本弘道と共に、JAZZ ART せんがわの顔としての存在感は絶大。



小さいからこそ豊かで挑戦的なジャズフェスができる。「世界でも活躍している日本の先鋭的な音楽家たちのホームとなるフェスを」という芸術監督のベーター・ゲスナーの発案を受け、たくさんの友人たちの協力を得て、世界から出演希望が

殺到する。その魔法のような出会いの瞬間は輝いていますよ。大規模なフェスにない大切な音楽がここにはあります。



2017年第8回表彰式にて、ファイナリスト・専門審査員・市民審査員・アドバイザー等で、記念の集合写真。

せんがわ劇場演劇コンクール

次世代の舞台芸術の担い手を育てる 育成支援型コンクール。

DATA

開始時期：2010年2月
 開催回数：9回
 のべファイナリスト数：56団体
 のべ観客数：5,879名
 関わった市民サポーター数：90名
 事業種類：次世代を担う舞台芸術活動者育成事業

※回数・人数などは2017年度終了時のものです

劇場が掲げる4つの使命の一つ「舞台芸術を通じ、次世代を担う子どもたちや舞台芸術活動者を育成する」の演劇での中核を担うのが、この演劇コンクールです。

単に作品の優劣を評価して終わるのではなく、コンクール後も受賞者たちが劇場と関わりを持ちつづけられることが大きな特徴。グランプリや市民審査員によって選ばれるオーディエンス賞の受賞団体による受賞公演をはじめ、劇場が自主制作する演劇公演やアウトリーチ事業などへの参加をとおして、次世代を担う若手たちが舞台芸術活動者としての可能性を育んでいます。

ファイナリスト&受賞者

第1回(2010年)
 ちょうぶ☆座21
 タマゴプリン <オーディエンス賞>
 花伝 [KADEN] シアターカンパニー
 Menlo Park Studio
 ピースカンパニーグループ
 chon-muop / チョンモップ
 FLIPLIP
 トランジスタ one <グランプリ>

第2回(2011年)
 オペラ工房
 すこやかクラブ
 ZIPANGU Stage <FC東京賞>
 大正直劇団
 企画グループHOURRA
 青春事情 <グランプリ&オーディエンス賞>
 優しい逆噴社
 劇団コラソン

第3回(2012年)
 劇団コラソン
 オペラ工房
 キトキト企画 <グランプリ&オーディエンス賞>
 電気通信大学演劇同好会劇団パンダデパート
 グループAKT.T
 JUGON
 KEN プロデュース
 劇団回転磁石

第4回(2013年)
 劇団印象-indian elephant
 第0楽章 <俳優賞：土橋健太>
 まごころ18番勝負 <脚本賞：待山佳成>
 シンクロナイズ・プロデュース
 劇団appleApple
 演劇プロデュースユニット Moratorium Pants
 THEATRE MOMENTS <グランプリ&オーディエンス賞/>
 演出賞：佐川大輔
 JAPLIN

第5回(2014年)
 劇団晴天
 劇団ボニーズ <特別賞>
 ヘアピン倶楽部
 アカネジレンマ
 イマカラメガネ <オーディエンス賞>
 劇団820製作所 <グランプリ/>
 脚本賞：渡野淳祐 / 俳優賞：洞口加奈

第6回(2015年)
 オーストラ・マコンドー
 集団たま。
 劇団しよよよ <オーディエンス賞>
 chon-muop <演技賞：chon-muop>
 LiveUpCapsules <脚本賞：村田裕子>
 ドキドキぼーいず <グランプリ/>
 演出賞：本間広大

第7回(2016年)
 いきずり
 演劇活性化団体 uni
 情熱のフラミンゴ <グランプリ/>
 脚本賞：島村和秀 / 演技賞：MIKI the FLOPPY
 ナイスコンプレックス <オーディエンス賞>
 開幕ペナントレース <演出賞：村井雄>
 <トマソンの祀り>のための集まり

第8回(2017年)
 平泳ぎ本店
 waquiraz <俳優賞：waquiraz>
 Pityman <劇作家賞：山下由>
 HOLIDAYS <演出家賞：深堀絵梨>
 スペースノットブランク <グランプリ>
 <ちびの会 <オーディエンス賞>

第9回(2018年)
 コトリ会議 <劇作家賞：山本正典>
 ブルーエゴナク
 ゆうめい <特別賞>
 すこやかクラブ <演出家賞：うえもとしほ>
 パンチェッタ <グランプリ&オーディエンス賞/>
 俳優賞：パンチェッタ
 N2 / エヌツー



2014年第5回グランプリ・劇団820製作所へ、イベント実行委員長より賞状授与。



2013年第4回グランプリ・オーディエンス賞 THEATRE MOMENTS「パニック」



2015年第6回グランプリ ドキドキぼーいず「闇」



2016年第7回グランプリ 情熱のフラミンゴ「きれいなひかり」

最下：©Koji Ota その他：©青二才晃（市民サポーター）

アドバイザー 徳永京子（演劇ジャーナリスト）

劇場事業に深い理解を示しつつ、演劇ジャーナリストとしての豊富な知識と経験を活かして、コンクールにさまざまな角度からアドバイスを送っている。



2013年と2015年の審査員を経て、2016年以降はアドバイザーとして関わっています。せんがわ劇場がもともと行ってきた、コンクールとアウトリーチ事業の連携をきちんと伝えながら、せんがわ劇場演劇コンクールを、多くの才能ある若手劇団が目指すコンクールにしたいと考えています。10年目以降もよろしくお願いたします。



2017年第6回最優秀賞の受賞コンサート「坂本リサ ピアノリサイタル」

ピアノを育てるプロジェクト／ せんがわピアノオーディション

「ピアノを育てる」から、
「次世代ピアニストを育てる」へ。

DATA

開始時期：2011年7月
 開催回数：6回（オーディションのみ）
 のべ参加者数：141名
 （オーディションのみ）
 のべ観客数：1,750名（育てるプロ
 ジェクト・受賞者コン
 サート含む）
 関わった市民サポーター数：26名
 事業種類：次世代を担う舞台芸術活
 動者育成事業

※回数・人数などは2017年度終了時のものです

せんがわ劇場には、世界最高峰として知られるスタインウェイのピアノがあります。しかし、2008年の開館時に導入したピアノは、まだ若く弾き込みが必要でした。そこではじまったのが「ピアノを育てるプロジェクト」。ショパンコンクール入賞歴も持つピアニスト・高橋多佳子さんが中心となり、コンサートや弾き込みによってピアノ本来の魅力を引き出す取組です。さらにピアニストも育てようと発展的に生まれたのが「せんがわピアノオーディション」。受賞コンサートをとおして、若手が次のステージへと羽ばたく登竜門です。



第5回最優秀賞の受賞コンサート「神谷 悠生 ピアノリサイタル」



第6回表彰式にて、受賞者と選考委員等で、記念の集合写真。



オーディションでは、演奏のほか、選考委員からのインタビューも行われるのが特徴です。



受賞コンサートの緊張から解放され、高橋さん、下田さんと談笑

受賞者

第1回（2012年）

最優秀賞：江沢茂敏
 優秀賞：原万佑子 小林遼
 奨励賞：向田成人 浅井文 佐藤昌仁

第2回（2013年）

最優秀賞：金悠里 田中優子
 優秀賞：猪狩雄斗 永易理恵
 奨励賞：奥村百合名

第3回（2014年）

最優秀賞：中迫研
 優秀賞：菊池広輔
 優良賞：奥谷翔 篠村友輝哉
 市民審査員賞：菊池広輔
 坂井千春賞：奥谷翔
 下田幸二賞：菊池広輔
 三上桂子賞：中迫研
 高橋多佳子賞：遠藤詩子

第4回（2015年）

最優秀賞：早坂忠明
 優秀賞：内村真凜
 優良賞：大井駿 木邨清華
 市民審査員賞：内村真凜
 坂井千春賞：木邨清華
 下田幸二賞：内村真凜
 三上桂子賞：藤田健夫
 高橋多佳子賞：鶴澤奏

第5回（2016年）

最優秀賞：三重野奈緒 神谷悠生
 優秀賞：白河俊平 竹澤真人
 奨励賞：犬飼実花 小鷹礼子
 市民審査員賞：田母神夕南
 高橋多佳子賞：秋山紗穂
 小川典子賞：小鷹礼子
 坂井千春賞：鈴木美祐
 下田幸二賞：田母神夕南
 三上桂子賞：土屋結葉

第6回（2017年）

最優秀賞：坂本リサ
 優秀賞：田母神夕南
 優秀賞：秋山紗穂
 奨励賞：五条玲緒
 市民審査員賞：中川翼
 有森博賞：中川翼
 小川典子賞：松村由慶
 下田幸二賞：鈴木美穂
 三上桂子賞：邵受霄
 高橋多佳子賞：五条玲緒

第7回（2018年）

最優秀賞：三原未紗子
 優秀賞：下岡萌々子
 優良賞：谷口若菜 都筑小百合
 市民審査員賞：都筑小百合
 有森博賞：高梨壮一郎
 下田幸二賞：下岡萌々子
 三上桂子賞：三原未紗子
 三船優子賞：都筑小百合
 高橋多佳子賞：廣瀬由香里

プロデューサー 高橋 多佳子（ピアニスト）

「ピアノを育てるプロジェクト」に委嘱ピアニストとして参加中、本オーディションを自ら提案。選考委員長として、若者に愛情を注いでいる。



(c)Shinichiro Saigo

「せんがわピアノオーディション」も早いもので7回を数えました。最優秀賞のご褒美が劇場でのリサイタルということで、今や若いピアニスト達の間ですっかり浸透しています。先日素晴らしい入賞者が生まれました。

今後も劇場とともに長く愛されるオーディションとなりますように祈っております。